
サービス校正

5

サービス校正 5-2

「サービス校正」メニューの表示 5-4

1. Accuracy Calibration (精度校正) 5-6

2. Line Sensor (ライン センサの校正) 5-9

3. Service Station (サービス ステーションの校正) 5-11

4. Roller Mark Position (ローラー マーク位置の校正) 5-13

5. Pen to Paper Spacing (ペンと用紙間の校正) 5-15

6. Color to Color Calibration (カラー間の校正) 5-16

7. Calibration Backup (校正のバックアップ) 5-19

8. Pen Alignment (ペンの軸合わせ) 5-22

キャリッジ高さの校正 5-24

サービス校正

プリンタには、特定の状況下で実行しなければならない校正手順がいくつかあります。校正が必要なときは、以下の表を参照して判断してください。

警告

あるアッセンブリを、別のアッセンブリや部品を調べるために分解した場合でも、校正が必要となる場合がありますので注意してください。

実行する必要がある校正

必要な場合	1	2	3	4	5	6	7	8	◆
キャリッジを取り外し または交換する場合	不要	必要	必要	必要	不要	必要	不要	必要	必要
エレクトロニクス モ ジュールを交換する場合	不要	不要	不要	不要	不要	不要	必要	必要	不要
用紙軸モーターを取り外 しまたは交換する場合	必要	不要	不要	不要	不要	必要	不要	不要	不要
プラテン アッセンブリを 取り外しまたは交換する 場合	不要	不要	必要	不要	不要	必要	不要	不要	必要
サービス ステーションを 取り外しまたは交換する 場合	不要	不要	必要	不要	不要	必要	不要	不要	不要
ドライブ ローラーを取り 外しまたは交換する場合	必要	不要	不要	不要	不要	必要	不要	不要	不要
チューブ システムを取り 外しまたは交換する場合	不要	不要	不要	不要	不要	不要	必要	必要	不要
帯状のムラのトラブルが ある場合	必要	必要	不要	不要	不要	不要	不要	必要	不要
カラー間での軸ずれが ある場合	不要	必要	不要	不要	不要	必要	不要	必要	不要
カラー精度のトラブルが ある場合	不要	不要	不要	不要	不要	不要	不要	不要	不要
エッジ検出のトラブルが ある場合	不要	必要	不要	不要	不要	不要	不要	不要	不要

注記

関係のある校正については、次のページを参照してください。

サービス校正

以下は、プリンタで実行可能な内部サービス校正の一覧です。サービス校正メニューの表示手順については、5-4 ページを参照してください。

1 Accuracy Calibration (精度校正) ⇒ 5-6 ページ

このサービス校正の目的は、標準の用紙送りを校正することです。この校正は、帯状のムラのような出力品質のトラブルを回避するために、用紙の正確な動きを制御するのに必要です。

2 Line Sensor (ライン センサの校正) ⇒ 5-9 ページ

このサービス校正の目的は、キャリッジPCAのライン センサの輝度を校正することです。正しく校正が実施されていない場合は、用紙の取り付け中にエッジの検出に失敗したり、軸合わせや校正した結果を正確に得る事が出来なくなります。

3 Service Station (サービス ステーションの校正) ⇒ 5-11 ページ

このサービス校正の目的は、キャリッジアッセンブリに関連してサービス ステーションを校正することです。

4 Roller Mark Position (ローラー マーク位置の校正) ⇒ 5-13 ページ

このサービス校正の目的は、ドライブ ローラー上にあるマーク エンコーダを校正することです。

5 Pen to Paper Spacing (ペンと用紙間の校正) ⇒ 5-15 ページ

この校正は必要なくなりました。

6 Color to Color Calibration (カラー間の校正) ⇒ 5-16 ページ

このサービス校正の目的は、個々のプリントヘッドとの間の軸合わせを校正することです。この校正は、カラーの軸ずれを防ぐために必要です。

7 Calibration Backup (校正のバックアップ) ⇒ 5-19 ページ

このサービス校正の目的は、エレクトロニクス モジュールまたはチューブ システムを交換するときに、EEROMの内容を保存できるようにすることです。

8 Pen Alignment (ペンの軸合わせ) ⇒ 5-22 ページ

このサービス校正の目的は、プリントヘッド間の軸合わせを校正することです。この校正は、カラーの軸ずれや帯状のムラのような出力品質を防ぐために必要です。

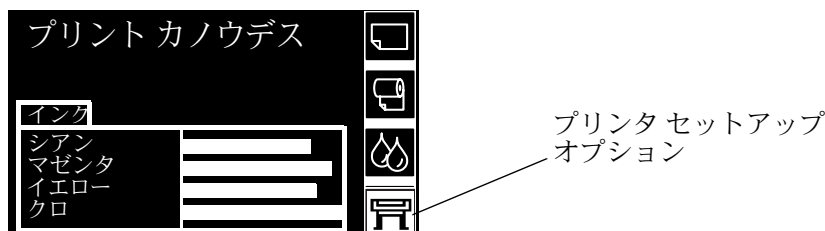
◆ Carriage Hight Calibration (キャリッジ高さの校正) ⇒ 5-24 ページ

このサービス校正の目的は、キャリッジとセンタ プラテン間の距離を調節することです。この校正は、プリントヘッ

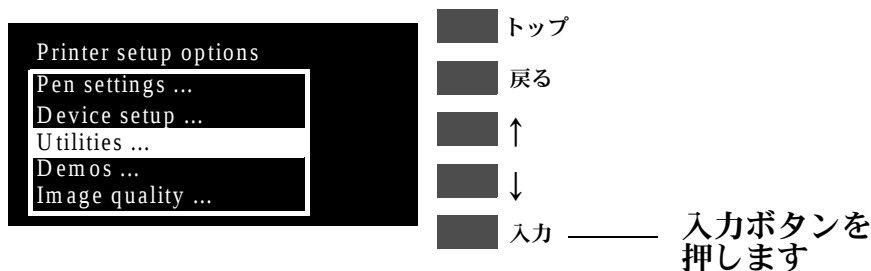
ドのクラッシュのようなトラブルを防ぐために必要です。

「サービス校正」メニューの表示

- 1 フロントパネルに「プリント カノウデス」というメッセージが表示されたら、「プリンタ セットアップ オプション」のアイコンまでスクロールして入力ボタンを押します。



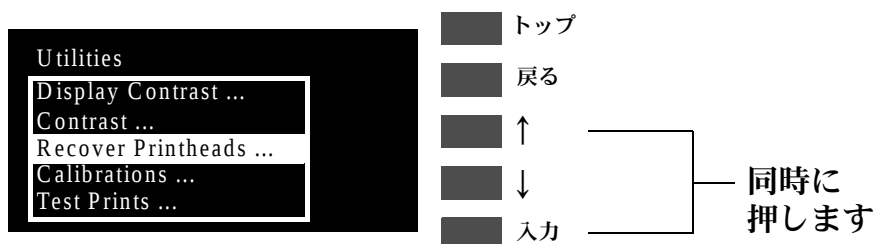
- 2 「プリンタ セットアップ オプション」メニューが表示されたら、矢印キーを使って「ユーティリティ」メニュー表示までスクロールし、入力ボタンを押します。



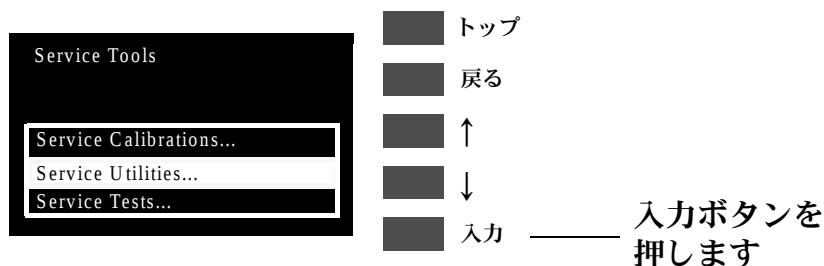
注記

フル メニュー モードでないと「Service Tools」サブメニューにはアクセスできないので、フル メニュー モードであることを確認してください。

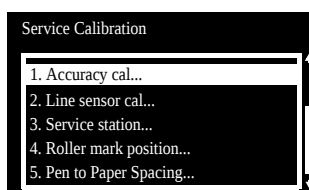
- 3 「ユーティリティ」メニューが表示されたら、入力ボタンを同時に押します。これで、「Service Tools」メニューに移動します。



- 4 矢印ボタンを使って「Service Calibration」メニューにスクロールし、入力ボタンを押します。



- 5 矢印ボタンを使って「Service Calibraion」選択項目にスクロールします。



- 6 目的のサービス校正がハイライトされたら、入力ボタンを押して特定の校正を開始します。

注記

プリンタを使用しない状態で 3 分が経過すると「Service Calibration」メニューが終了するので、再度「Service Calibration」メニューを表示するには、上記の手順を繰り返す必要があります。

注記

ボタンを押す操作が速すぎると、プリンタによって認識されないことがあります。ボタンを押すときは、正確にゆっくりと押し込んでください。

注記

プリンタが処理の途中でハングアップしたら、プリンタの電源スイッチをオフにして、手順 1.から再開してください。

1. Accuracy Calibration (精度校正)

このサービス校正の目的は、標準の用紙送りを校正することです。この校正は、帯状のムラのような出力品質のトラブルを回避するために、用紙の正確な動きを制御するのに必要です。

サービス精度校正を行うのは：

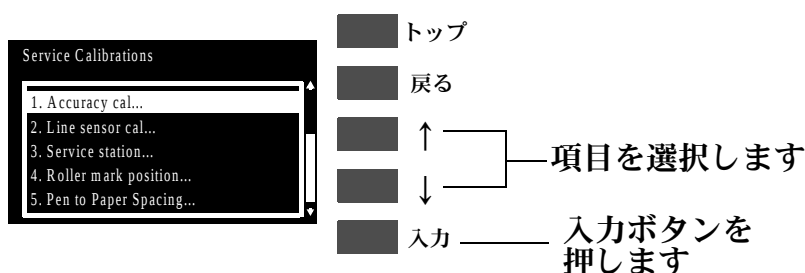
- 出力結果に帯状のムラがあるとき
- ドライブ ローラーを取り外しまたは交換するとき
- 用紙軸モーターを取り外しまたは交換するとき

次の手順で精度校正を行います。

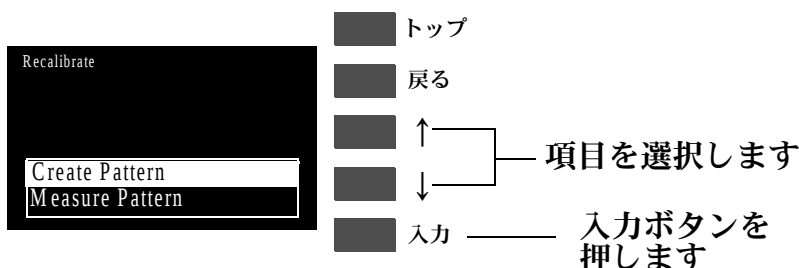
注記

この校正を行う前に、プリンタに HP 光沢フォト用紙が取り付けられていることを確認してください。HP 光沢フォト用紙以外の種類の用紙は使用しないでください。

- 1 「サービス コウセイ」サブメニューで「1.Accuracy cal」にスクロールし、入力ボタンを押します。



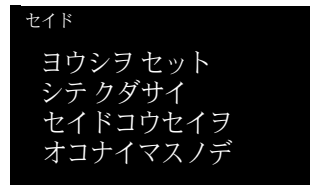
- 2 フロントパネルに次のメッセージが表示されたら、「パターンノ サクセイ」を選択し、入力ボタンを押します。



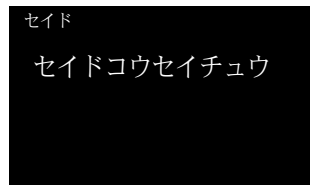
- 3 用紙が取り付けられていないと、フロントパネルに次のようなメッセージが表示されます。プリンタに用紙を取り付けてください。

注記

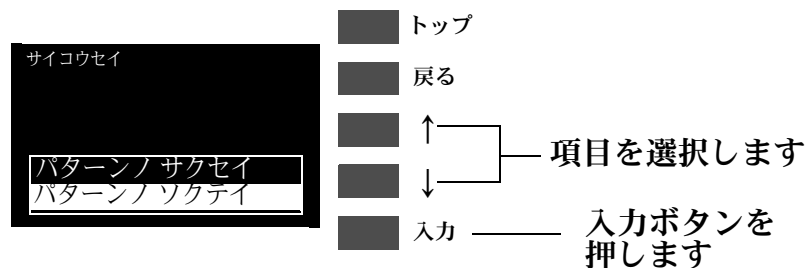
HP 光沢フォト用紙以外の種類の用紙は使用しないでください。



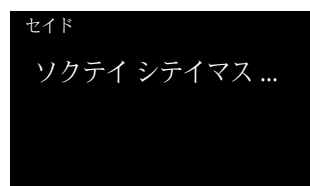
- 4 精度校正パターンの印刷が開始され、フロントパネルに次のメッセージが表示されます。



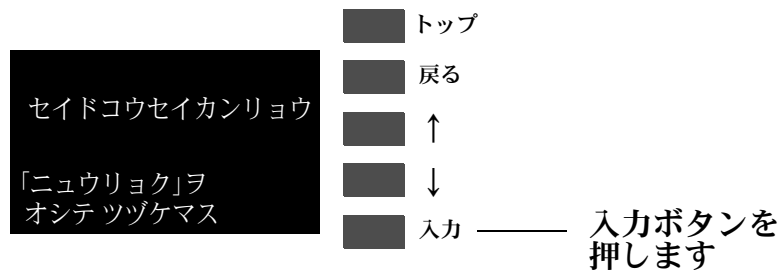
- 5 精度校正パターンがいったん完了したら、次のメッセージが表示されます。用紙からパターンを取り外して「パターンノソクテイ」を選択し、入力ボタンを押します。



- 6 プリントされた面を表にして矢印の向きを前面の青い線に合わせて取り付けます。ウインドウを下げて用紙をロードします。
- 7 プリンタによってパターンが取り付けられ、キャリッジアセンブリのラインセンサを使って軸合わせマークが測定されます。プリンタによってパターンが測定される間、次のメッセージが表示されます。



- 8 いったん校正が完了したら、次のメッセージが表示されます。



- 9 校正が正常に完了したかどうかを点検するには、「サービス構成プリント」(1-20 ページを参照) を印刷し、精度校正に対して指定した値がすべてゼロでないことを点検します。

これらの値がすべてゼロではないことを点検

Calibrations

ACCURACY (FACTORY):	Worm ampli: 2.795 Worm phase: -1.925	Roller ampli: 21343 Roller phase: 0.900	Roller ampli 2: 5.164 Roller phase 2: -0.450	Slope: -0.003
PLATTEN EDGE:	223.393mm (223.308mm)			
LED(Green/Blue):	Channel: sidLineSensorDC3/sidLineSensorDC1 VLED: 183/183		Offset: 222/159 Margin: 719/735	
LED TO K (SCAN): Not calibrated	LED TO K (SVS): 6.959mm (1.987mm)		SERVICE STATION: Not calibrated	
DROP DETECT (distances in mm):				
Cyan 0	Cyan 1	Magenta 0	Magenta 1	Yellow 0
49.826 (50.207)	45.593 (46.143)	61.630 (62.211)	77.639 (78.147)	113.792 (114.215)
PRIMER:	Start position: 19.727mm			
				Yellow 1
				109.643 (110.151)
				Black 0
				145.881 (146.219)
				Black 1
				141.732 (142.155)

- 10 校正に失敗したら、Electronic Systems Test (電気テスト) を実施します ⇒ 4-5ページ

2. Line Sensor (ライン センサの校正)

このサービス校正の目的は、キャリッジPCAのライン センサの輝度を校正することです。正しく校正が実施されていない場合は、用紙の取り付け中にエッジの検出に失敗したり、軸合わせや校正した結果を正確に得る事が出来なくなります。

Line Sensor Calibration (ライン センサの校正)を実行するのは：

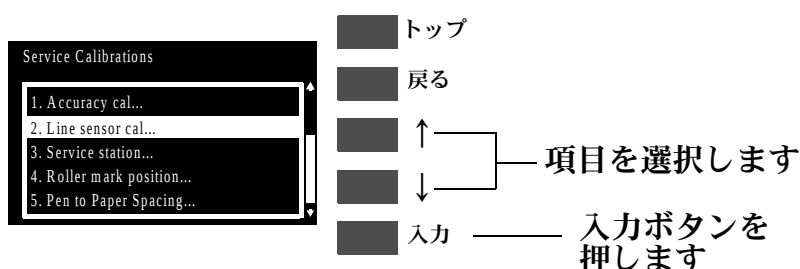
- 用紙の取り付け中にエッジ検出手順に失敗したとき
- キャリッジを取り外しまたは交換するとき
- 出力結果に帯状のムラがあるとき
- カラー間で軸ずれが検出されたとき

次の手順でLine Sensor Calibration (ライン センサの校正)を行います。

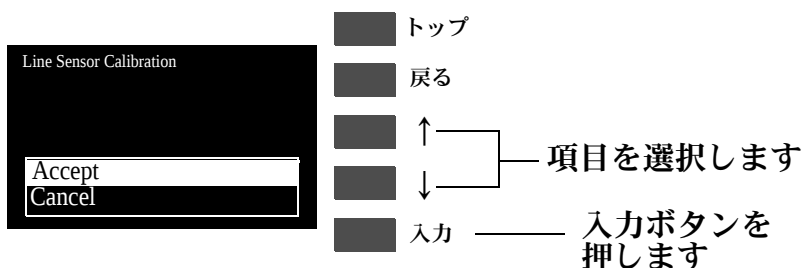
注記

この校正を行う前に、プリンタに HP コート紙が取り付けられていることを確認してください。

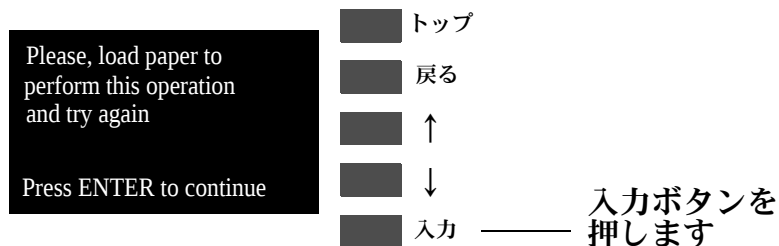
- 1 「サービス コウセイ」サブメニューで「2.Line Sensor」にスクロールし、入力ボタンを押します。



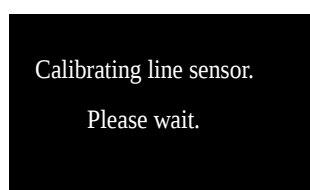
- 2 操作を確認するための次のメッセージが表示されます。Line Sensor Calibration (ライン センサの校正)を続ける場合は「**Accept**」を選択し、Line Sensor Calibration (ライン センサの校正)をキャンセルする場合は「**Cancel**」を選択します。どちらかを選択したら、入力ボタンを押します。



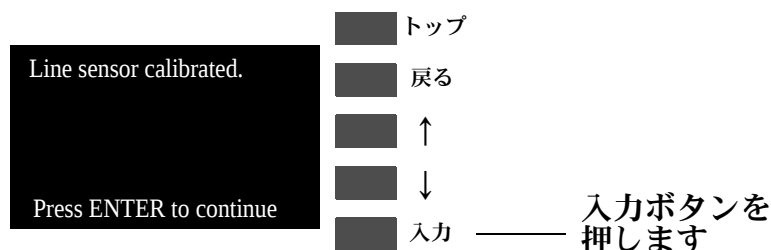
- 3 作業を続けるよう選択した場合は、用紙が取り付けられていないことを示す次のメッセージがフロントパネルに表示されます。作業を続けるには、用紙をプリンタに取り付けてください。



- 4 プリンタによってライン センサ パターンの印刷が開始され、フロントパネルに次のメッセージが表示されます。



- 5 Line Sensor Calibration (ライン センサの校正) がいったん完了したら、フロントパネルに次のメッセージが表示されます。



- 6 校正が正常に完了したかどうかを点検するには、サービス構成プリントを印刷し (1-20 ページを参照)、LED (グリーン/ブルー) に対して指定した値がゼロでないことを点検します。

これらの値がゼロでないことを点検

Calibrations

ACCURACY (FACTORY):	Worm ampli: 2.795 Worm phase: -1.925	Roller ampli: 21.343 Roller phase: 0.900	Roller ampli 2: 5.164 Roller phase 2: -0.450	Slope: -0.003			
PLATTEN EDGE:	223.393mm (223.308mm)						
LED(Green/Blue):	Channel: sid_lineSensorDC3/sid_lineSensorDC1 VLED: 183/183	Offset: 222/159 Margin: 719/735					
LED TO K (SCAN): Not calibrated	LED TO K (SVS): 6.959mm (1.987mm)		SERVICE STATION: Not calibrated				
DROPP DETECT (distances in mm):							
Cyan 0	Cyan 1	Magenta 0	Magenta 1	Yellow 0	Yellow 1	Black 0	Black 1
49.826 (50.207)	45.593 (46.143)	81.830 (82.211)	77.639 (78.147)	113.792 (114.215)	109.643 (110.151)	145.881 (146.219)	141.732 (142.155)
PRIMER:		Start position: 19.727mm					

- 7 校正に失敗したら、Electronic Systems Test (電気テスト) を実施します ⇒4-5 ページ

3. Service Station (サービス ステーションの校正)

このサービス校正の目的は、キャリッジアッセンブリに関連してサービスステーションを校正することです。

Service Station Calibration (サービスステーションの校正)を行うのは：

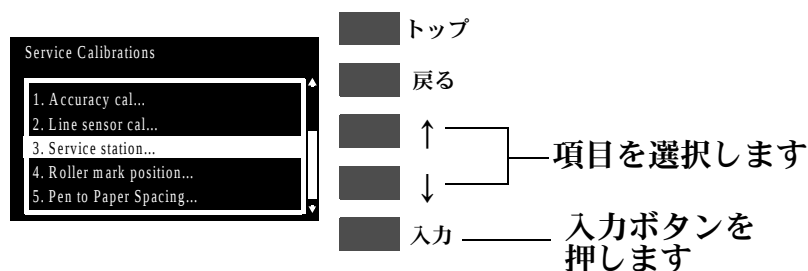
- キャリッジアッセンブリを取り外しまたは交換するとき
- プラテンアッセンブリを取り外しまたは交換するとき
- サービスステーションを取り外しまたは交換するとき

次の手順でService Station Calibration (サービスステーションの校正)を行います。

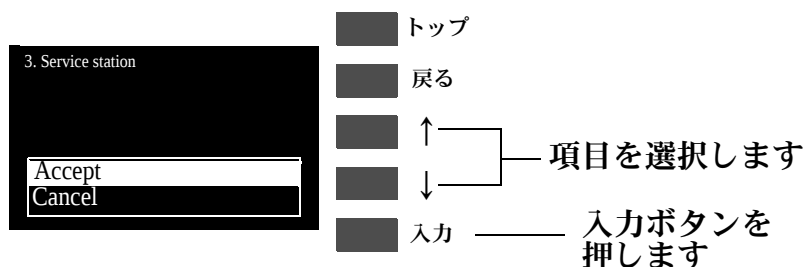
注記

この校正を行う前に、A4より大きい用紙が取り付けられていることを確認してください。HPコート紙またはHP光沢フォト用紙以外の種類の用紙は使用しないでください。

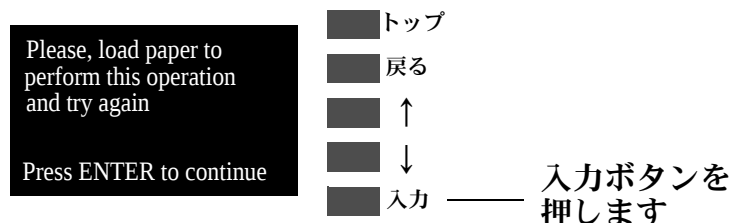
- 1 「サービス コウセイ」サブメニューで「3.Service station」にスクロールし、入力ボタンを押します。



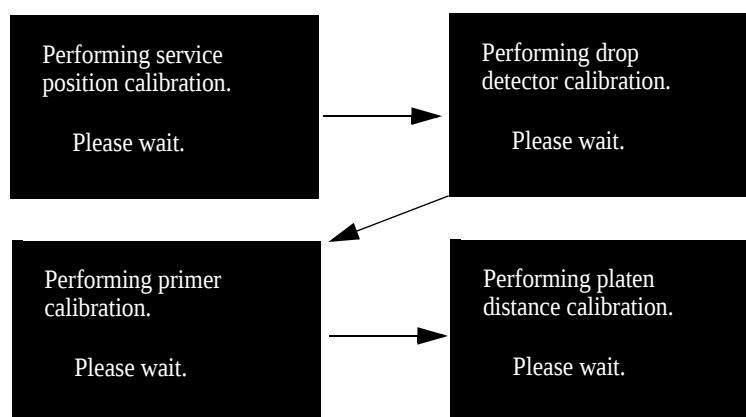
- 2 操作を確認するための次のメッセージが表示されます。Service Station Calibration (サービスステーションの校正)を続ける場合は「Accept」を選択し、Service Station Calibration (サービスステーションの校正)をキャンセルする場合は「Cancel」を選択します。どちらかを選択したら、入力ボタンを押します。



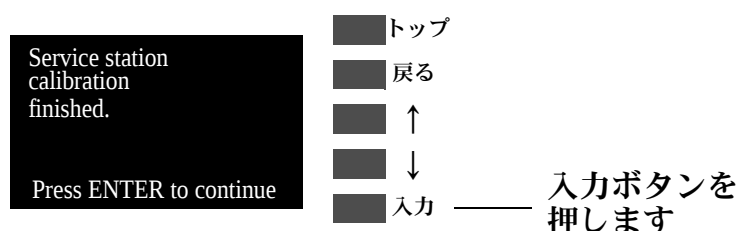
- 3 作業を続けるよう選択した場合は、用紙が取り付けられていないことを示す次のメッセージがフロントパネルに表示されます。作業を続けるには、用紙をプリンタに取り付けてください。



- 4 プリンタによって校正パターンの印刷が開始され、次のメッセージがフロントパネルに表示されます。



- 5 Service Station Calibration (サービスステーションの校正) がいったん完了したら、次のメッセージがフロントパネルに表示されます。



- 6 校正が正常に完了したかどうかを点検するには、サービス構成プリントを印刷し (1-20 ページを参照)、校正が終了して、一定の範囲内にあることを点検します。

校正が終了して範囲内であることを点検									
Calibrations									
ACCURACY (FACTORY):		Worm ampli: 2.795		Roller ampli: 21.343		Roller ampli 2: 5.164		Slope: -0.003	
		Worm phase: -1.925		Roller phase: 0.900		Roller phase 2: -0.450			
PLATTEN EDGE:		223.393mm (223.308mm)							
LED(Green/Blue):		Channel: sidLineSensorDC3/sidLineSensorDC1				Offset: 222/159			
		VLED: 183/183				Margin: 719/735			
LED TO K (SCAN): Not calibrated				LED TO K (SVS): 6.959mm (1.987mm)				SERVICE STATION: Not calibrated	
DROP DETECT (distances in mm):									
Cyan 0		Cyan 1		Magenta 0		Magenta 1		Yellow 0	
49.826 (50.207)		45.593 (46.143)		81.830 (82.211)		77.639 (78.147)		113.792 (114.215)	
PRIMER:		Start position: 19.727mm							
						Yellow 1		Black 0	
						109.643 (110.151)		145.881 (146.219)	
								141.732 (142.155)	

4. Roller Mark Position (ローラー マーク位置の校正)

このサービス校正の目的は、ドライブ ローラー上にあるマーク エンコーダを校正することです。

ローラー マーク位置の校正を行うのは：

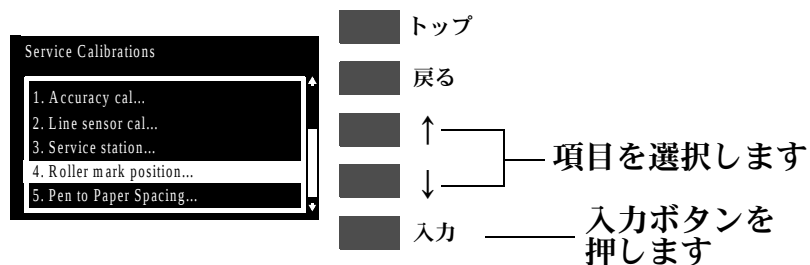
- キャリッジを取り外しまたは交換するとき

次の手順でローラー マーク位置の校正を行います。

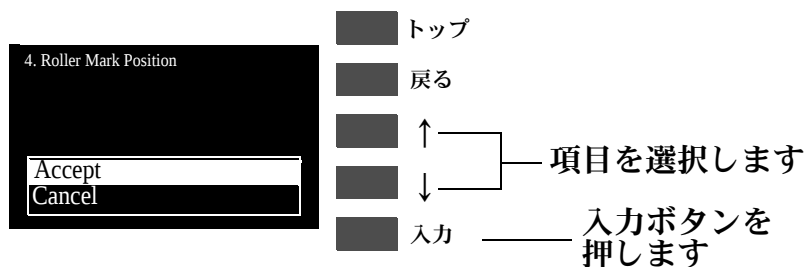
注記

校正を行う前に、プリンタから用紙が取り外されていることを確認してください。

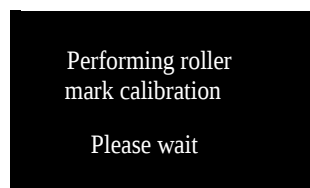
- 1 「サービス コウセイ」サブメニューで「4.Roller mark position」にスクロールし、入力ボタンを押します。



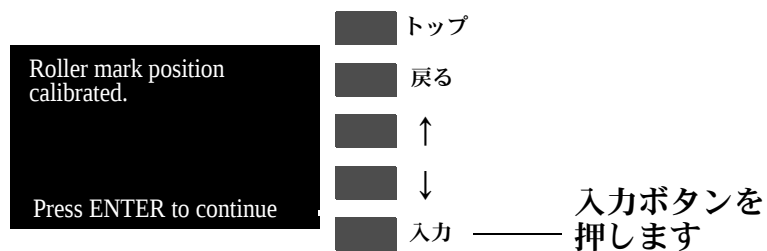
- 2 操作を確認するための次のメッセージが表示されます。ローラー マーク位置の校正を続ける場合は「Accept」を選択し、ローラー マーク位置の校正をキャンセルする場合は「Cancel」を選択します。どちらかを選択したら、入力ボタンを押します。



- 3 作業を続けるよう選択すると、校正が開始され、次のメッセージがフロントパネルに表示されます。



- 4 ローラー マーク位置の校正がいったん完了したら、次のメッセージがフロントパネルに表示されます。



5. Pen to Paper Spacing (ペンと用紙間の校正)

警告

この校正は必要なくなったので、行わないでください。

6. Color to Color Calibration (カラー間の校正)

このサービス校正の目的は、個々のプリントヘッドとの間の軸合わせを校正することです。この校正は、カラーの軸ずれを防ぐために必要です。

カラー間の校正を行うのは：

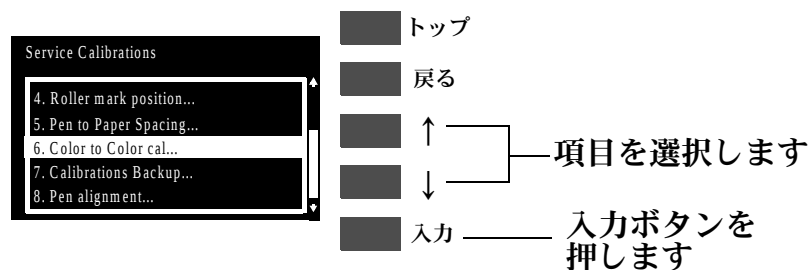
- キャリッジを取り外しまたは交換するとき
- ドライブ ローラーを取り外しまたは交換するとき
- カラーの軸ずれのトラブルがあるとき
- 用紙軸モーターを取り外しまたは交換するとき
- プラテン アッセンブリを取り外しまたは交換するとき
- サービス ステーションを取り外しまたは交換するとき

次の手順でカラー間の校正を行います。

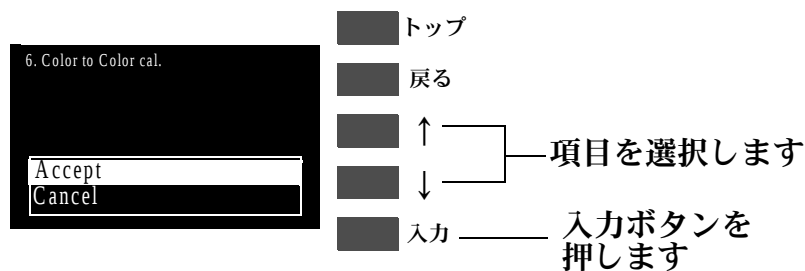
注記

この校正を行う前に、E/A0サイズのHP光沢フォト用紙またはHPコート紙が取り付けられていることを確認してください。HPコート紙またはHP光沢フォト用紙以外の種類の用紙は使用しないでください。

- 1 「サービス コウセイ」サブメニューで「6.Color to Color cal」にスクロールして、**入力**ボタンを押します。



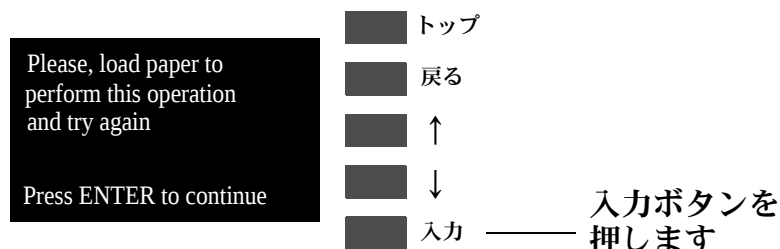
- 2 操作を確認するための次のメッセージが表示されます。校正を続ける場合は「**Accept**」を選択し、校正をキャンセルする場合は「**Cancel**」を選択します。どちらかを選択したら、**入力**ボタンを押します。



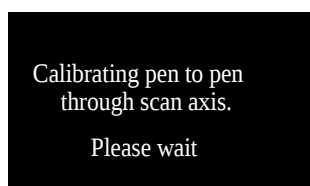
- 3 作業を続けるよう選択した場合は、用紙が取り付けられていないことを示す次のメッセージがフロントパネルに表示されます。

注記

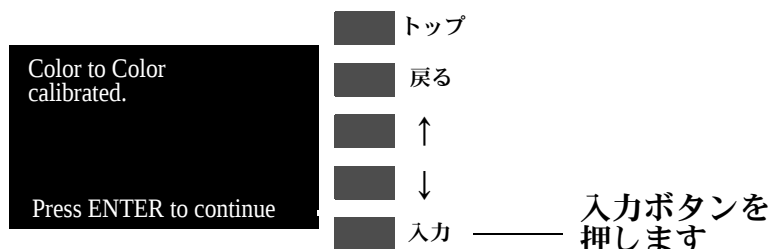
E/A0 サイズの HP 光沢フォト用紙または HP コート紙が取り付けられていることを確認してください。HP コート紙または HP 光沢フォト用紙以外の種類の用紙は使用しないでください。



- 4 プリンタによって校正パターンの印刷が開始され、次のメッセージがフロントパネルに表示されます。



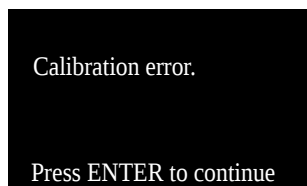
- 5 ペンと用紙の間隔の校正がいったん完了したら、次のメッセージがフロントパネルに表示されます。



注記

校正が終了したら「排紙/カット」を押して、ロール紙から校正パターンを切り取ってください。

校正に失敗したら、次のメッセージがフロントパネルに表示されます。



この場合、次の手順でトラブルを解決します。

- 1 校正パターンが悪い場合：
 - フロントパネル メニューを使ってプリントヘッドを修復し、再校正します。
 - 依然として校正パターンが悪い場合は、インクが正しく噴射されていないプリントヘッドを交換します。
- 2 Electronic Systems Test (電気テスト)を実施します ⇒ 4-5 ページ

7. Calibration Backup (校正のバックアップ)

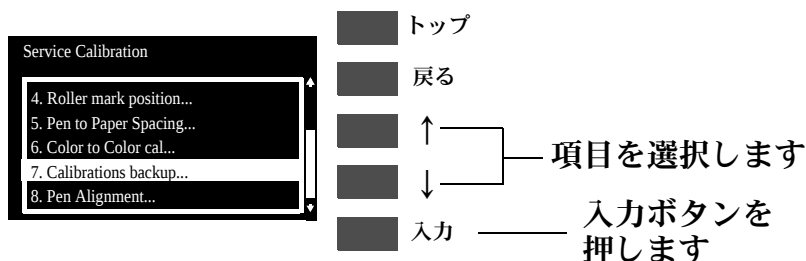
このサービス校正の目的は、エレクトロニクス モジュールまたはチューブ システムを交換した後に、EEROMの内容を保存するために使用します。

警告

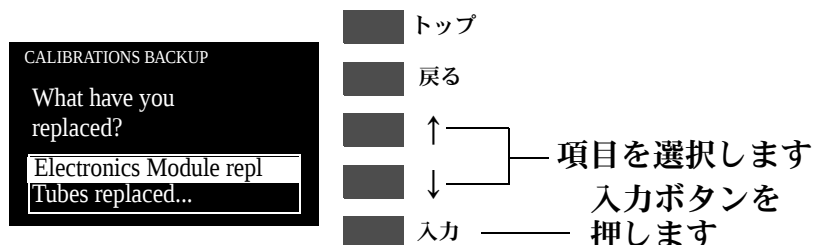
エレクトロニクス モジュールまたはチューブ システムを交換した後は、必ず**Calibration Backup (校正のバックアップ)**を行ってください。

次の手順でCalibration Backup (校正のバックアップ)を行います。

- 1 「サービス ユーティリティ」サブメニューで「7.Calibration Backup」にスクロールし、**入力ボタン**を押します。

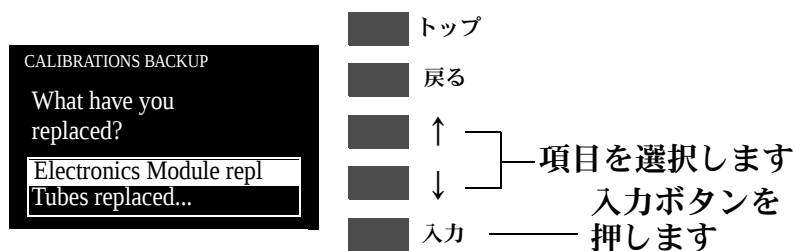


- 2 次のメッセージがフロントパネルに表示されたら、交換した部品を選択する必要があります。「エレクトロニクス モジュール」か「チューブ システム」のどちらかを選択し、**入力ボタン**を押します。

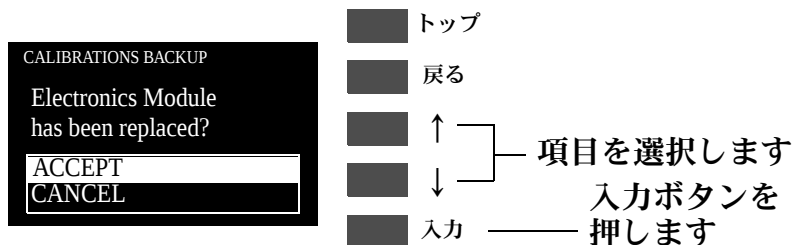


エレクトロニクス モジュールを交換した場合

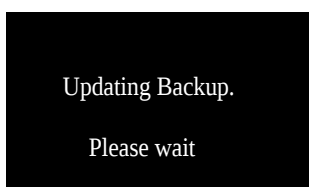
- a エレクトロニクス モジュールを交換した場合は、「Electronics Module repl」を選択し、**入力ボタン**を押します。



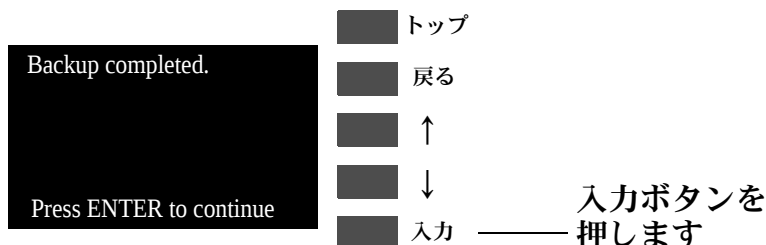
- b 操作を確認するための次のメッセージが表示されます。Calibration Backup (校正のバックアップ) を続ける場合は「**Accept**」を選択し、Calibration Backup (校正のバックアップ) をキャンセルする場合は「**Cancel**」を選択します。どちらかを選択したら、入力ボタンを押します。



- c 作業を続けるよう選択した場合は、Calibration Backup (校正のバックアップ) が開始されて校正がアップデートされ、次のメッセージがフロントパネルに表示されます。

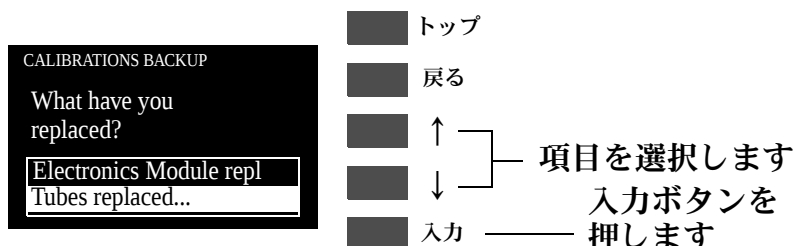


- d Calibration Backup (校正のバックアップ) がいったん完了したら、次のメッセージがフロントパネルに表示されます。

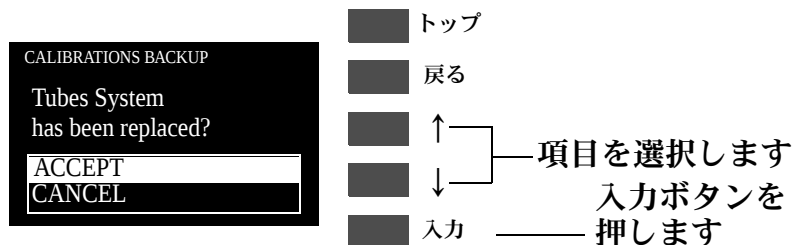


チューブ システムを交換した場合

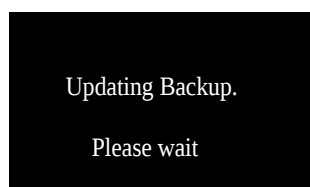
- a チューブ システムを交換した場合は、「チューブ システム」を選択し、入力ボタンを押します。



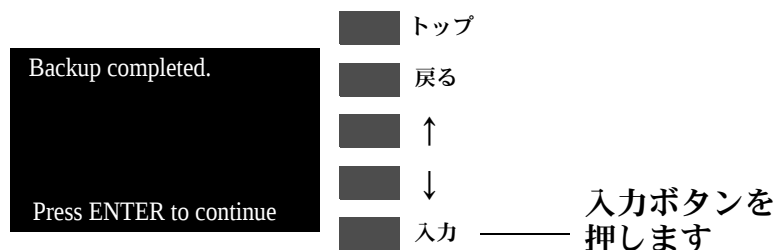
- b 操作を確認するための次のメッセージが表示されます。Calibration Backup (校正のバックアップ) を続ける場合は「**ACCEPT**」を選択し、Calibration Backup (校正のバックアップ) をキャンセルする場合は「**CANCEL**」を選択します。どちらかを選択したら、入力ボタンを押します。



- c 作業を続けるよう選択した場合は、Calibration Backup (校正のバックアップ) が開始されて校正がアップデートされ、次のメッセージがフロントパネルに表示されます。



- d Calibration Backup (校正のバックアップ) がいったん完了したら、次のメッセージがフロントパネルに表示されます。



8. Pen Alignment (ペンの軸合わせ)

このサービス校正の目的は、プリントヘッド間の軸合わせを校正することです。この校正は、カラーの軸ずれや帯状のムラのような出力品質を防ぐために必要です。

プリントヘッドの軸合わせ校正を行うのは：

- キャリッジを取り外しまたは交換するとき
- チューブシステムを取り外しまたは交換するとき
- 出力結果に帯状のムラがあるとき
- カラー間で軸ずれが検出されたとき
- エレクトロニクス モジュールを交換するとき

次の手順でペンの軸合わせ校正を行います。

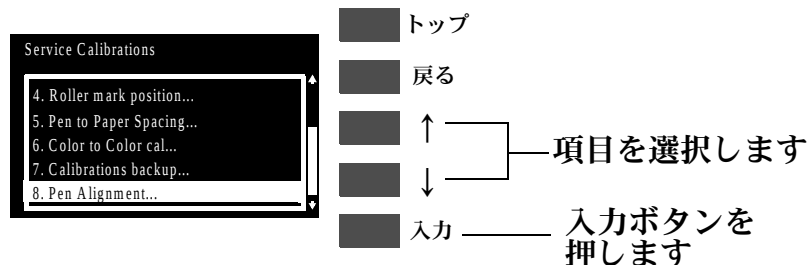
注記

この校正を行う前に、用紙が取り付けられていることを確認してください。

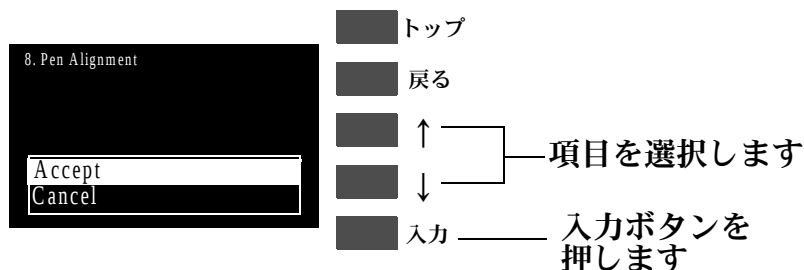
警告

クリアフィルム、ベラム紙、またはモノクロ・カラー・トレーシングペーパーは使用しないでください。

- 1 「サービス コウセイ」サブメニューで「8.Pen Alignment」にスクロールし、**入力**ボタンを押します。



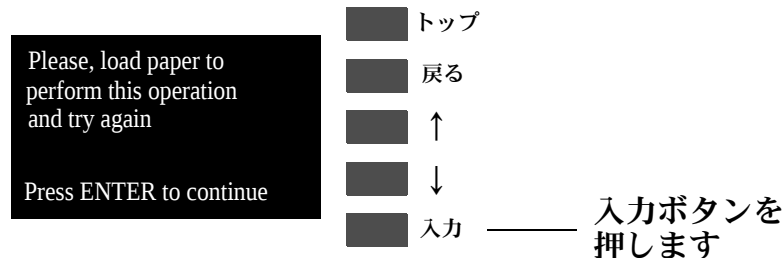
- 2 操作を確認するための次のメッセージが表示されます。校正を続ける場合は「ACCEPT」を選択し、校正をキャンセルする場合は「CANCEL」を選択します。どちらかを選択したら、**入力**ボタンを押します。



- 3 作業を続けるよう選択した場合は、用紙が取り付けられていないことを示す次のメッセージがフロントパネルに表示されます。作業を続けるには、用紙をプリンタに取り付けてください。

警告

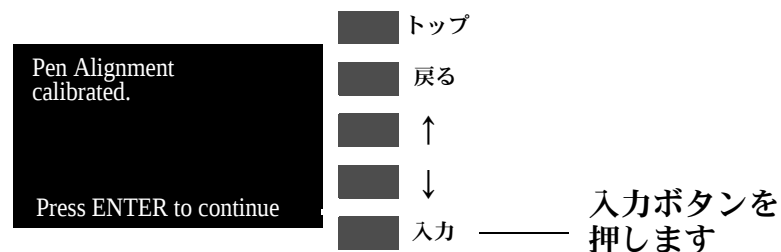
クリアフィルム、ベラム紙、またはモノクロ・カラー・トレーシングペーパーは使用しないでください。



- 4 プリンタによって軸合わせパターンの印刷が開始されたら、次のメッセージがフロントパネルに表示されます。



- 5 ペンの軸合わせの校正がいったん完了したら、次のメッセージがフロントパネルに表示されます。



- 6 校正に失敗したら、Electronic Systems Test (電気テスト) を実施します ⇒ 4-5 ページ

キャリッジ高さの校正

このサービス校正の目的は、キャリッジアッセンブリとセンタ プラテン間の距離を調節することです。この校正は、プリントヘッドのクラッシュのようなトラブルを防ぐために必要です。

キャリッジ高さの校正を行うのは：

- キャリッジを取り外しまたは交換するとき
- センタ プラテンを取り外しまたは交換するとき
- プリントヘッドが継続的にクラッシュするとき

次の手順でキャリッジ高さの校正を行います。

注記

この手順は、新しいキャリッジアッセンブリまたはセンタ プラテン アッセンブリに付属のキャリッジ高さ調整ツール (下の図を参照) を使って実行してください。

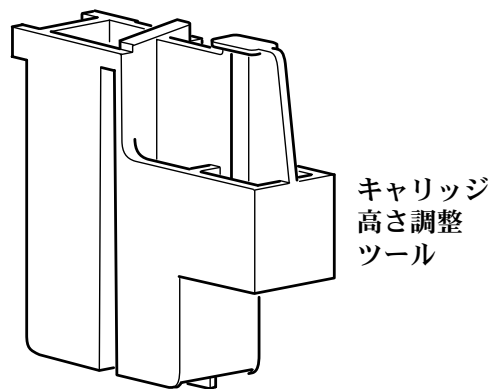
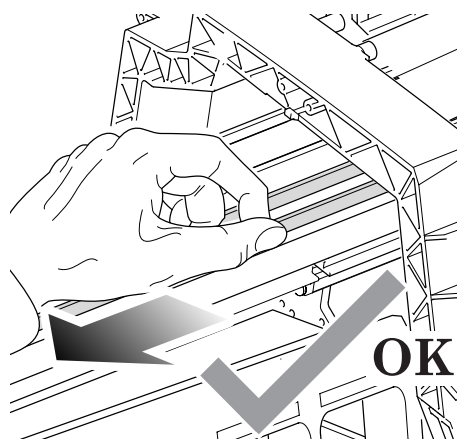


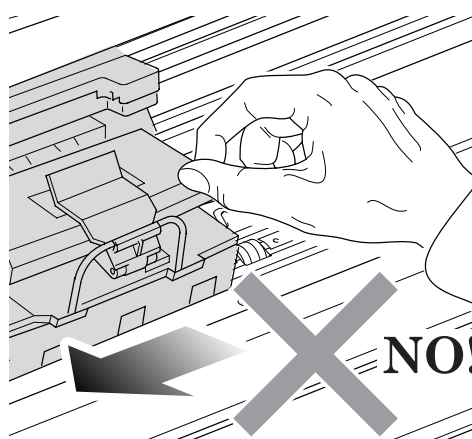
図 1

注記

キャリッジ高さの校正中、正しく校正を行うために、プリンタの端から端までキャリッジアセンブリを移動する必要があります。キャリッジアセンブリはベルトを引っ張って移動し、キャリッジ自体を直接触って移動しないようにしてください(下の図2を参照)。



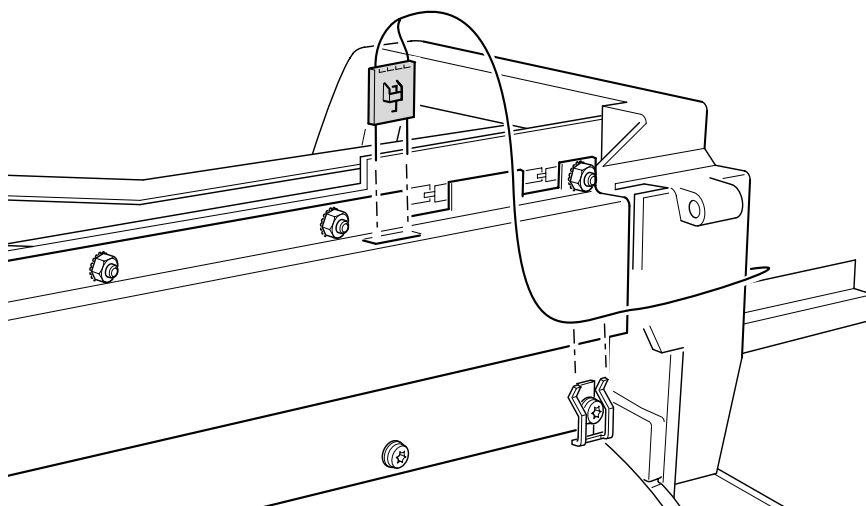
正:ベルトを使って移動します。



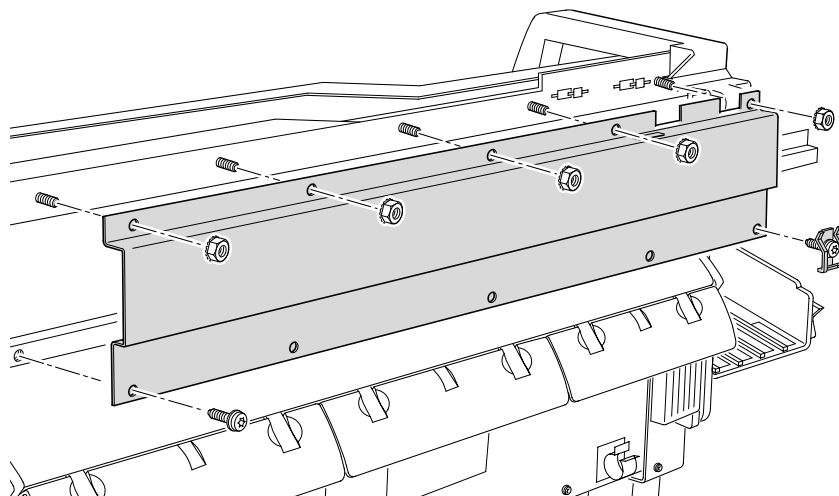
誤:キャリッジアセンブリ自体を掴んで移動してはいけません。

図 2

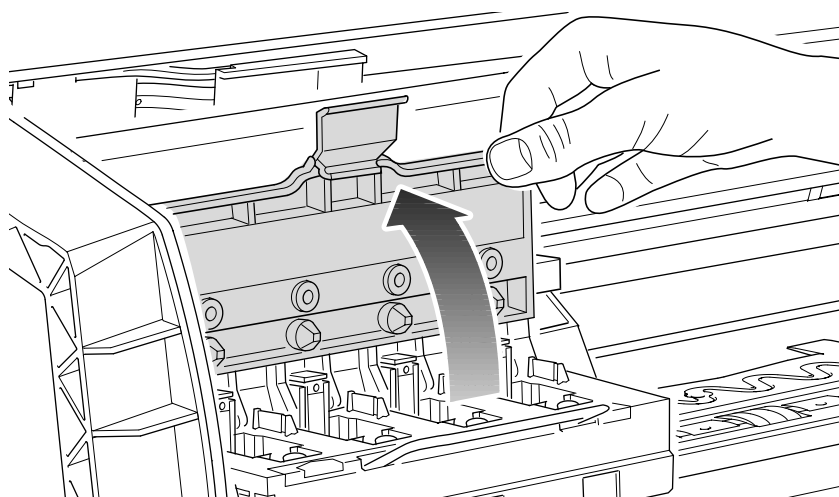
- 1 プリンタ背面からインク漏れ検知のケーブル コネクタを取り外します。



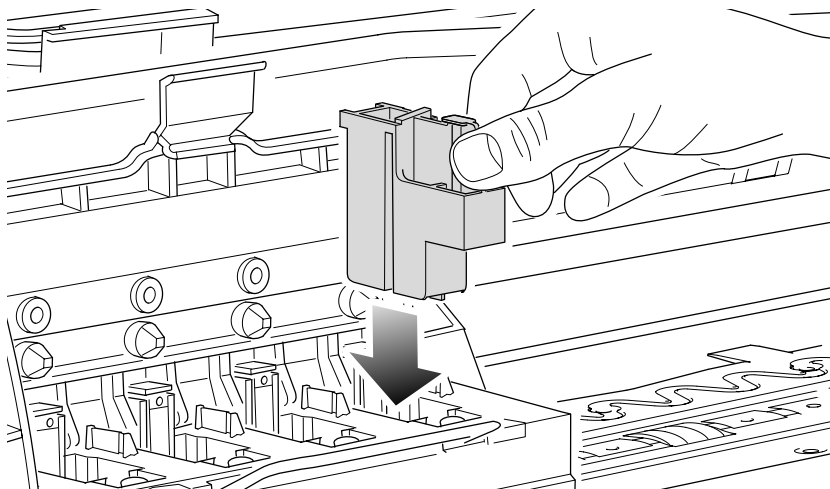
2 EMCカバーを取り外します。



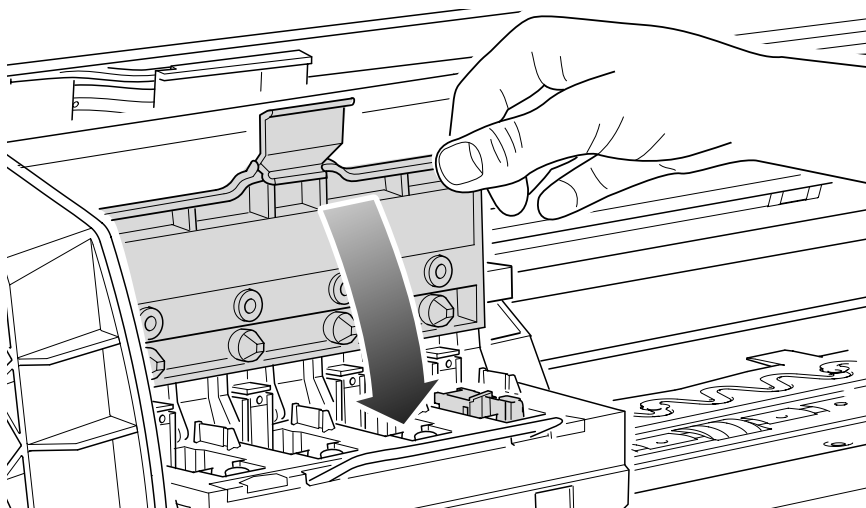
3 印刷領域の左側にあるキャリッジのカバーを開きます。



- 4 黒いカートリッジ スロットにキャリッジ高さ調整ツールを差し込みます。



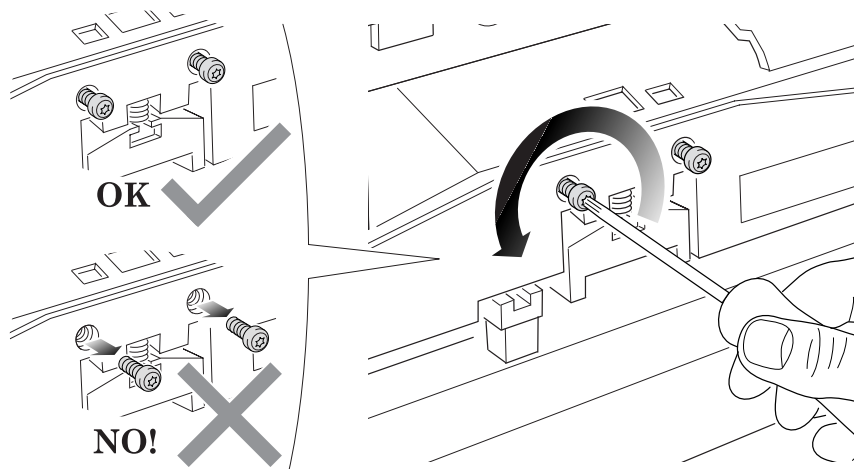
- 5 キャリッジ カバーを閉じます。



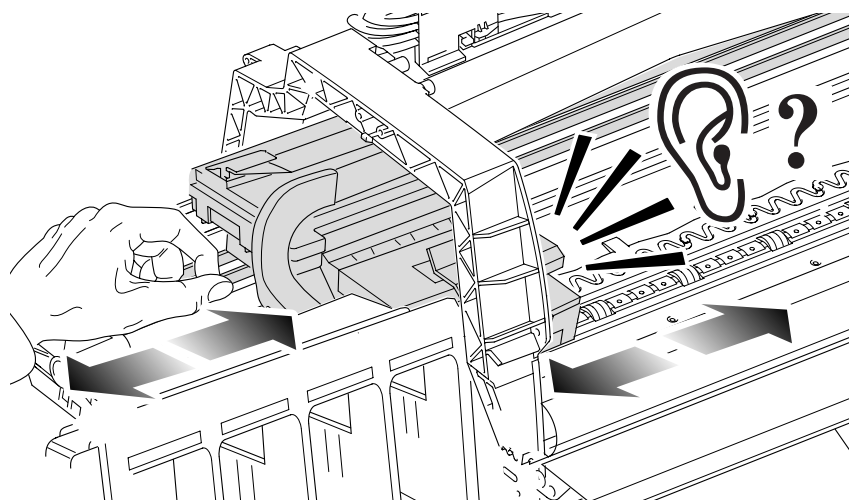
- 6 キャリッジアッセンブリ背面の2つのT10ネジをゆるめます。

注記

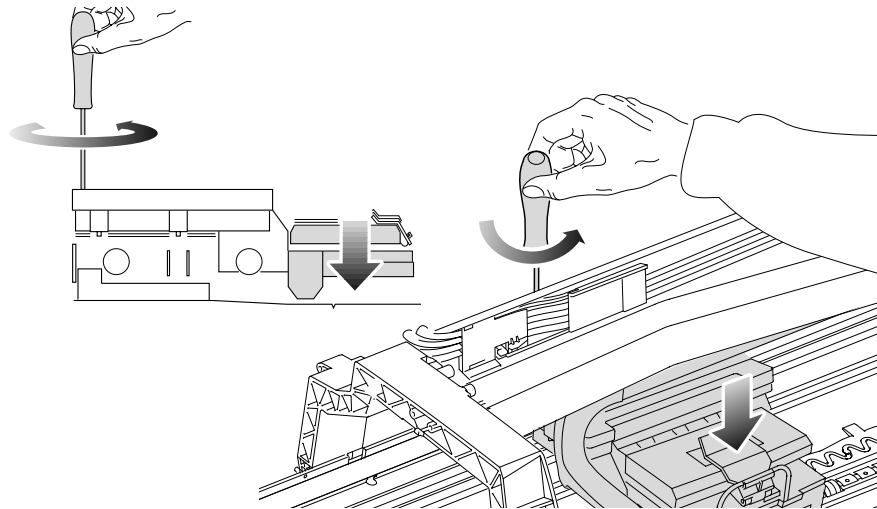
注記：ネジは取り外さないでください。



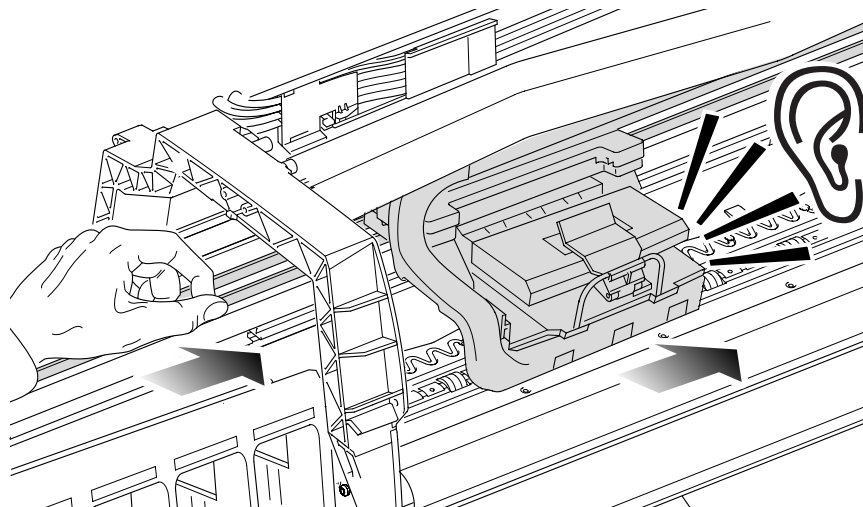
- 7 ベルトを使って、開始位置の左側 (印刷時に用紙の左端を合わせる場所) からセンタ プラテン上に沿ってキャリッジアッセンブリを移動します。その際、こすれる音がします：音が聞こえる場合は、手順9に進んでください。音がしない場合は、こすれる音がするようになるまでキャリッジアッセンブリを下げる必要があります (手順8)。



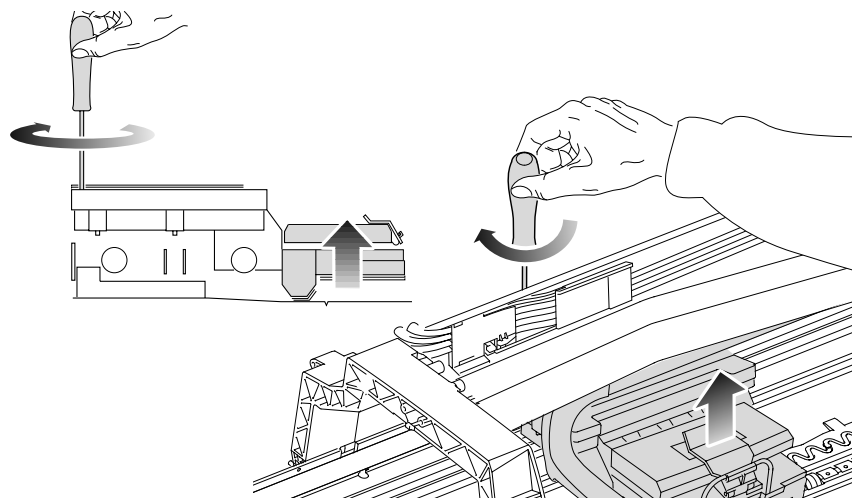
- 8 下の図に示すように、**T9**ネジを左に回してキャリッジ アッセンブリを少し下げ、前の手順7に示すように、こすれる音がするかどうかを点検します。



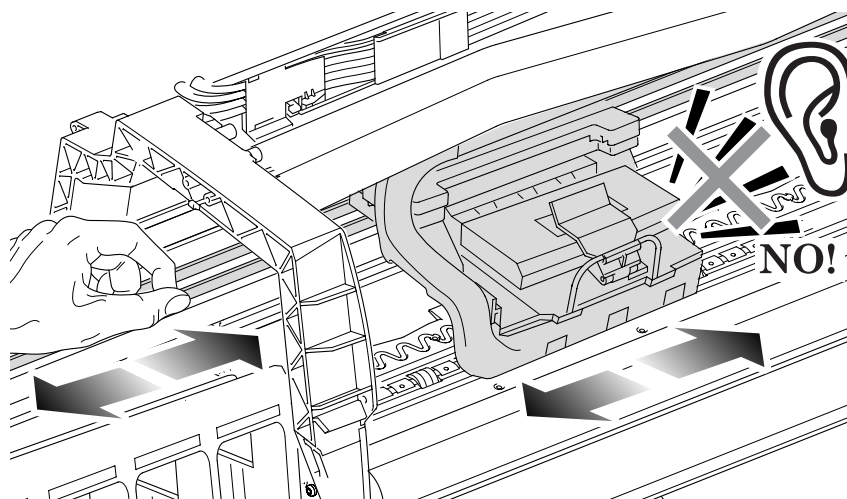
- 9 センタ プラテン上に沿ってキャリッジ アッセンブリを移動すると、今度はこすれる音がするはずですが：この音は、キャリッジ アッセンブリを上げる必要があることを示しています (音がしない場合は手順8を繰り返します)。



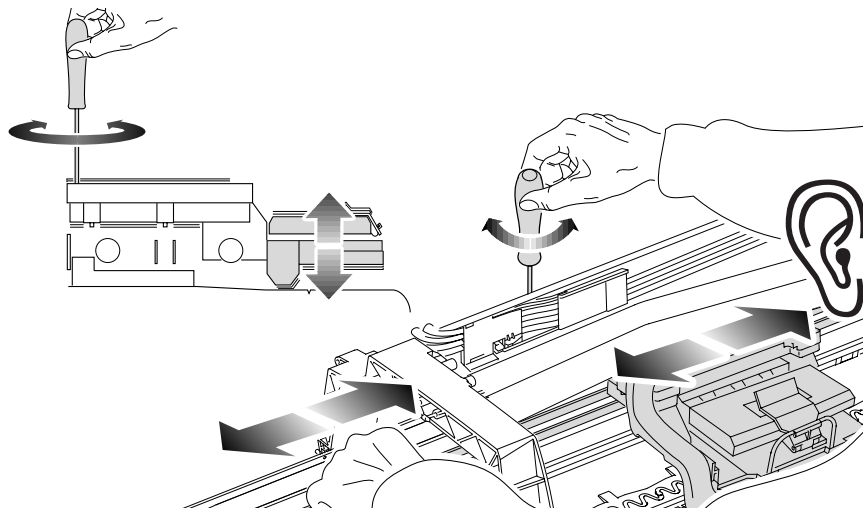
- 10** T9ネジを右に回してキャリッジ アセンブリを少し上げます (下の図を参照)。



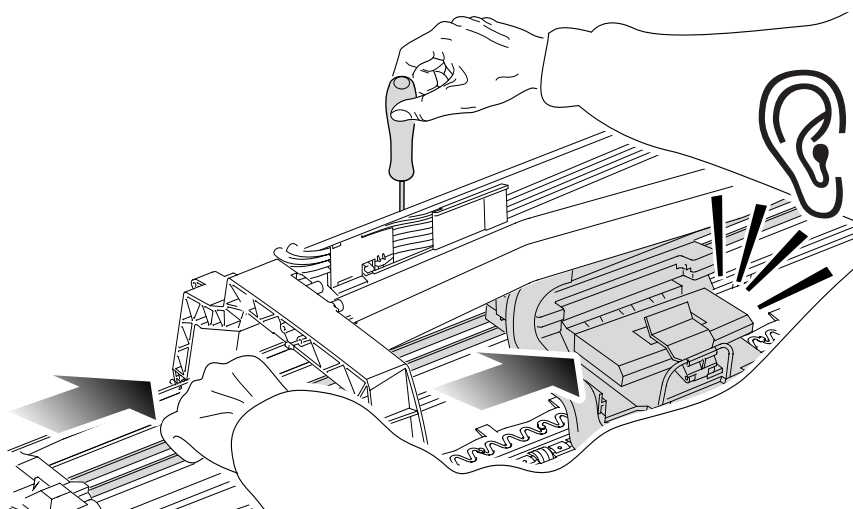
- 11** こすれる音がしないことを点検します。



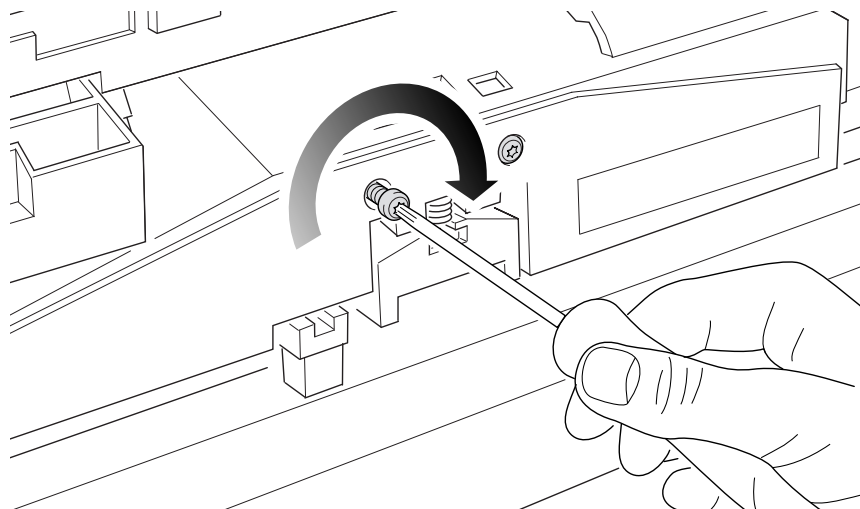
- 12 こすれる音がしなくなったら、キャリッジ アセンブリをセンタ プラテンにできるだけ近づけておくことが重要です。センタ プラテンにできる限り近い位置へキャリッジの高さを調整します。キャリッジをセンタ プラテンの左から右端まで移動させた時、僅かにこすれる音がするか、しない程度にキャリッジの高さを合わせます。



- 13 こすれる音が大きく広い幅でする場合は、手順10、11、12を繰り返し、センタ プラテンの左から右端までの点検を続けます。



- 14** センタ プラテン上での校正が完了したら (こすれる音がすべてクリアになったら)、現在の位置を確保するために、キャリッジアッセンブリ背面の2つの**T10**ネジをきつく締めます。



- 15** キャリッジ高さ調整ツールを取り外します。

